

2010年12月15日

国際柔道連盟とのサプライヤー契約により
新ルール適合柔道衣を日本代表へ提供

ミズノでは、2011年より国際柔道連盟（IJF）の主催大会での使用が義務づけられる新ルールに適合した柔道衣を製作し、このたび完成しました。このIJF公認ラベルの着いた柔道衣は、2011年1月からのIJF主催大会に日本代表選手が使用します。新しい柔道衣はIJFの制定したガイドラインに則り、従来品の仕様を変更しています。主な変更点は襟の硬さを柔らかく、上衣の着丈を長く、帯を締めてからほどけにくくするための工夫をしています。この柔道衣は日本のほか中国、ブラジル代表へも提供します。

また、この新ルール適合柔道衣は日本国内では2011年2月から国内で市販します。

(日の丸の付いた柔道衣を着用したモデルの写真)

国際柔道連盟アプロール取得柔道衣「優勝」

(新ルール適合柔道衣の特長)

1、襟の硬さを柔らかく

ルールに記載されている「胸当てに重なる部分で、たてに二つに容易に折り曲げることができる硬さとする」ため、従来モデルより柔らかくしています。

2、上衣の身丈の長さを長く

ルールに記載されている「腰骨から膝頭上にかけて3分の2程度の長さが必要」なため、従来品より各サイズとも約3cm丈を長くしています。

3、ルールに記載されている帯幅を狭く、厚さを踏まえ、従来品より帯幅、厚みが薄くなっており、締めやすさを追求しています。

以上のような主な新ルールを踏まえ、これまでの日本代表選手・スタッフからの意見などを反映させた上で、今回の新しい「優勝」をIJFアプロバル柔道衣として各国代表チームへ提供していきます。

(新ルール柔道衣のガイドラインについて)

国際柔道連盟の考えで「柔道は対人競技であるため、柔道衣は対戦相手に害があるものであってはならない」ということから、この度柔道衣の生地・素材から織り方や糸の太さまでが厳格に規定されました。

例えば、握れないような硬すぎる襟を防ぐため、襟の部分は表面生地、補強生地、主体芯、副芯材の素材や糸の番手を規定しています。また、確認方法も「折り曲げた箇所から5cmの位置に重さ10kgの重しを乗せて、~~折り~~折り曲がった部分の高さが4cm以内」と規定されています。

(中国代表チームとの契約について)

ミズノでは柔道の中国代表チームとのオフィシャルサプライヤー契約を締結しました。契約期間は2011年1月から2012年12月までの2年間です。この契約により、中国代表の男女がミズノ製柔道衣を着用してIJF主催主要国際大会へ出場します。

(マスコミのお問合せ先)

東京広報課 澤井・大澤 TEL:03-3233-7037

大阪広報課 高橋・山本 TEL:06-6614-8373

(ユーザーのお問合せ先)

ミズノお客様相談センター ☎ 0120-320-799

*ミズノ・インターネット情報は<http://www.mizuno.co.jp>